

## 総説 (雑誌)

### ●平成15年度 (2003.4~2004.3) ●

- 1) カルシウム・リン代謝異常症 (1) — 小児科医の立場から 大藺恵一  
大阪小児科医会会報, 125 : 1-4, 2003.
- 2) 大学の窓 変革の嵐の中で 大藺恵一  
大阪小児科医会会報, 125 : 5, 2003.
- 3) カルシウム・リン代謝異常症 (2) — 小児科医の立場から 大藺恵一  
大阪小児科医会会報, 126 : 1-4, 2003.
- 4) 小児骨代謝の最近の進歩 大藺恵一  
小児科, 44 (8) : 1245-1251, 2003.
- 5) 成長障害の鑑別診断 大藺恵一, 三善陽子  
大阪小児科医会会報, 127 : 1-4, 2003.
- 6) ビタミンDの作用と骨疾患 大藺恵一  
最新医学, 58 (11) : 49-55, 2003.
- 7) 遺伝子異常に基づく骨粗鬆症 大藺恵一, 窪田拓生  
CLINICAL CALCIUM, 13 (12) : 9-15, 2003.
- 8) 骨形成不全症 — VII 筋・骨・運動器疾患 — 山本威久※, 大藺恵一, 廣島和夫※  
小児内科, 35増刊号 : 1011-1018, 2003.
- 9) 骨細胞周囲の低石灰化病変を認めない低リンくる病の1例  
山本威久※, 宮内章光※, 今西康雄※, 稲葉雅章※, 西沢良記※, 道上敏美※, 大藺恵一  
ホルモンと臨床, 51 : 101-104, 2003.
- 10) 骨粗鬆症治療の課題と展望 松本俊夫※, 太田博明※, 大藺恵一  
治療学, 37 (12) : 77-85, 2003.
- 11) Diseases associated with abnormal skeletal maturity. Ozono K, Miyoshi Y  
Clin Pediatr Endocrinol, 12 (suppl 20) : 1-3, 2003.
- 12) 小児気管支喘息管理に関するアンケート調査 — 小児科医を対象に —  
井上壽茂※, 林田道昭※, 牧 一郎※, 土居 悟※, 原 純一, 大藺恵一  
新薬と臨床, 53 (1) : 2-10, 2004.

- 13) 小児気管支喘息管理に関するアンケート調査 — 保護者を対象として —  
井上壽茂※, 林田道昭※, 牧 一郎※, 土居 悟※, 原 純一, 大藺恵一  
新薬と臨床, 53 (1) : 11-19, 2004.
  
- 14) 小児科医と骨系統疾患 大藺恵一  
大阪小児科医会会報, 128 : 12-15, 2004.
  
- 15) 小児の低リン血症 大藺恵一  
日本醫事新報, 4169 : 105, 2004.
  
- 16) 小児脳腫瘍の治療成績 窪田恵子, 原 純一  
小児外科, 36 (1) : 114-123, 2004.
  
- 17) ステロイドホルモン感受性と遺伝子 中島滋郎  
骨と骨代謝, 17 : 61-66, 2004.
  
- 18) 分子レベルの最新疾患研究 —骨粗鬆症発症の分子メカニズム— 難波範行, 竹下 淳※  
実験医学, 21 (6) : 849-853, 2003.
  
- 19) 臨床医学の展望2004 —診断および治療の進歩6— 難波範行  
日本医事新報, 4168 : 41-42, 2004.
  
- 20) ムコリピドーシスⅡ・Ⅲ型 —Ⅳ 先天性代謝異常症—39 酒井規夫  
小児内科増刊号, 35 : 494-497, 2003.
  
- 21) 脊髄小脳変性症 —Ⅵ 神経疾患—24 下野九理子, 今井克美  
小児内科増刊号, 35 : 722-726, 2003.
  
- 22) 肢帯型筋ジストロフィー —Ⅷ 筋・骨・運動器疾患—2 沖永剛志  
小児内科増刊号, 35 : 908-912, 2003.
  
- 23) 臨床脳磁図検査解析指針試案  
渡辺裕貴※, 中里信和※, 今井克美, 白石秀明※, 二宮宏智※ (MEGガイドライン作成グループ2003)  
臨床神経生理学, 32 (1) : 1-13, 2004.
  
- 24) 免疫抑制剤関連脳症 井戸口理恵※, 今井克美  
小児科, 45 (2) : 203-208, 2004.